

## 目指す姿と会社方針

私たちの目指す姿 **東北を基盤に 世界一の競争力を持つ  
魅力あるコンパクト車をつくる**

2012年の新会社設立の際に掲げた、この目指す姿には

- 東北の地に根付き、地域と一体となったものづくりを続け、地域の一員として愛される企業市民となっていきたい。
- 世界中の車両メーカーが凌ぎを削るコンパクト車だからこそ、日本のものづくりの強みである高技能と革新技术力を活かし、日本から競争力のあるクルマを産み出し続けていきたい。
- 日本で鍛えられた力を世界のコンパクト車づくりに活かし、トヨタのグローバルのコンパクト車づくりのリーダーを目指して努力していきたい。

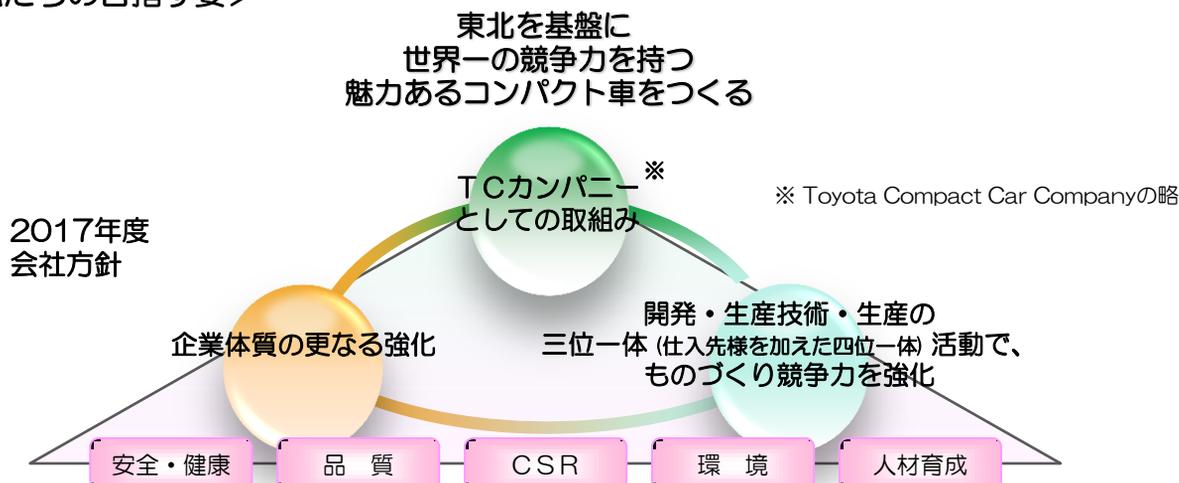
という私たちの思いを込めております。

この目指す姿の実現に向けて、2017年度の会社方針では、「コンパクト車の専門集団」として競争力を高め、東北を基盤としてもものづくりをグローバルに展開していくために、取組みを進めてまいります。

これらの遂行にあたりましては、従業員の安全と健康を大切に、品質、CSR、環境、人材育成に全社を挙げて取り組むとともに、これまで以上に、トヨタ自動車（株）や海外事業体と一体感を高め、もっといいクルマを、もっと早く、世界中のお客様へお届けしてまいります。

そして、私たちがトヨタ国内第3の拠点として位置付けた「東北」を基盤とする会社として、社員一人ひとりが責任ある行動を実践することにより、地域からも信頼され、共に成長でき、「東北が元気」になれるよう、お客様・社会・環境との調和を図ってまいります。

### <私たちの目指す姿>



## 目指す姿と会社方針

コンパクト車の専門集団になる

■ アクア、シエンタに次ぐ、“復興の星 第3弾” C-HRが岩手より発信

C-HRは、欧州にて先行発売され、2016年12月14日から日本でも発売しました。車両の開発、生産準備においては、トヨタ自動車(株)、TMMTと連携を深め、最高の品質の実現に向けて尽力してまいりました。

※TMMT=トヨタ自動車(株)のトルコ共和国における生産拠点  
Toyota Motor Manufacturing Turkey, Inc.

- 地域の皆様、販売店、仕入先の皆様とともに、C-HRラインオフ式を開催  
(2016年12月16日)



- 生産を担う岩手工場の代表が“いいクルマづくり”への決意表明



私たちの使命は、この東北の地、岩手から魅力あふれるクルマを全国のお客様にお届けすることです。そのためにも、**開発、生産技術、生産現場が三位一体**となり、力を合わせて“復興の星 第3弾”となる**C-HRを生産開始**しました。これからも、お客様本位のものづくりにまい進し、全てのお客様に喜んでいただける、かけがえのない1台をお届けすることを誓います。

## 目指す姿と会社方針

■ 欧州の場で鍛え上げた、意のままの走りを実現する走行性能



走りの楽しさと低燃費、2つの歓びを両手に

- 1. 8ℓエンジン+モーター  
クラストップレベルの燃費性能と走りの楽しさを追求したハイブリッドシステム搭載
- 1. 2ℓターボ  
ダウンサイジングターボエンジンによる爽快な走りと優れた燃費性能

■ C-HRで、徹底的にこだわった“デザイン（格好）”と“走り”



リヤドア アウトサイドハンドル（デザイン・操作性）



クーペのような外観を表現するため、リヤドアに溶け込ませたアウトサイドハンドルをC-HR専用設計しました。お客様が使用されるあらゆるシーンを想定し、検討を重ね、カタチにしていきました。デザインと操作性を両立した“カッコいい”ドアハンドルを実現できました。

第1 ボデー設計部  
中村 雄太さん

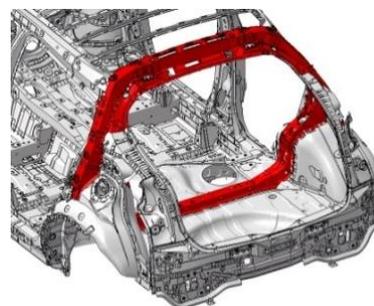


高剛性ボディ（走り）



「我が意の走り」を実現するために、リヤボディ環状骨格構造などを採用し、ボディ剛性を向上させました。完成車になると見えないところですが、設計のこだわりが詰まっています。欧州競合車を上回るボディ剛性を達成したC-HRで、ドライバーの意のままに走る気持ち良さを体感していただきたいと思います。

第1 ボデー設計部  
佐藤 秀敬さん



リヤボディ環状骨格構造